

委員・有識者からの主な意見（分野別会合（観光））

□ 明治維新150年に向けた取組

- ・ 中期的な取組として、大河ドラマ、世界遺産、薩長土肥連合、維新150年と段階的に具体的な内容でアピールすることが大切。
- ・ 平成29年にデスティネーションキャンペーンを展開することで効果的に情報発信をすることができる。
- ・ 明治維新は、人をテーマとしてストーリーをつくるのが良い。
- ・ 維新150年に向けて、各地域・市町で具体的に何をやっていくのかを今から詰めておくことが必要。萩では、明倫館の復活、維新の観光テーマパークとして、しっかり取り組むこととしている。

□ 情報発信

- ・ 全国的には、山口県よりも「萩」の方が知名度が高く、旅行会社としては、「萩」が一番売りやすい。
- ・ 5大都市圏における情報発信会の継続的な開催をお願いしたい。
- ・ 若者の多くがインターネットで情報収集している。タイムリーで季節感のある情報など、インターネットでの情報発信にも力を入れるべき。
- ・ 山口県の素晴らしい資源や食を観光客の誘致につなげるためには、しっかりとした情報発信が必要。市町からの情報を一括管理し、在京のKEY局や全国区の雑誌・新聞社への情報提供、県と市が連携したロケ支援などに対応する組織の開設を検討して欲しい。

□ 外国人観光客(インバウンド)の誘致

- ・ ラグビーワールドカップや東京オリンピックでは、関東、京阪神地域のホテルが足りない状況になる。その時に外国人客を受け入れられる体制が必要。
- ・ 中国地方は、外国人観光客誘致の連携体制が弱い。九州や四国のように広域連携して積極的に取り組んで欲しい。
- ・ 外国人の観光客に向けて、案内板の多言語表記を徹底的に進めて欲しい。
- ・ 外国人のほとんどが福岡空港を経由して入ってきていることを重視し、福岡空港と連携した受入体制の検討が必要。
- ・ こちらから現地に出向いて直接山口県をPRすることが大切。

□ 二次交通対策

- ・訪問した観光地から次の観光地につながる交通対策、例えば、萩に行きたい人が萩に行け、そこから他の観光地に行ける交通対策が必要。
- ・都会の人は車の運転をしないのでレンタカーだけでは難しい。色々な交通手段を組み合わせることが重要。

□ コンベンションの誘致

- ・広島や福岡、韓国の釜山で開催される国際会議の分科会を引き受けることも検討すべき。
- ・コンベンションには、地元が手を挙げることで決定する会議が数多くある。地元の団体等が積極的に手を挙げるようなムードづくりが必要。

□ クルーズ船誘致

- ・下関は東アジアから近い地理的優位性を有しており、積極的に誘致すべき。

□ その他

- ・外から見た場合、山口県の知名度は低い。県全体を売り込むのではなく、4番バッターをつくってプロモーションをかけていくことが重要。
- ・山口ならではの素材をどれだけ見つけられるか、磨けるかが大切。
- ・旅行会社の担当者が山口県のことを知らなければ商品造成ができない。担当者に来てもらって、山口のことを知っていただくための取組が必要。
- ・県出身者であっても、出身地域以外のことは知らないため、県外在住の出身者に向け「大人の修学旅行」を提案するのも面白い。
- ・外国人に対しては、福岡経由で誘致することが必要であるため、福岡県にアンテナショップを設置することを検討して欲しい。
- ・現在の旅行客に中心はディズニーランドやUSJなどの都市型観光。山口県は今から都市化はできないので、山口県らしさで取り組むことが大切。
- ・SL山口号を単なる観光列車としてだけではなく、文化遺産としてもPRできないか。
- ・旅館業界にとっては、施設の耐震診断・改修が大きな問題。県として早く方針を示して欲しい。
- ・県内各地で、そこでしか食べることができないものの開発など、魅力ある観光資源の創出が重要。